

「青少年生活欲求調査」の技術的反省

— casework 用具としての生活欲求調査の準備 —

A trial of psycho social survey of juvenile needs to
be used as a casework utensil.

寺 本 喜 一

KIICHI TERAMOTO

序

- I. 調査仮説（調査目的）の反省
- II. 調査対象（調査見本抽出撰定基準）の反省
- III. 調査項目（調査票）の反省
- IV. 調査実施方法の反省
 1. 学校調査について
 2. 地域調査について
- V. 調査集計についての反省
- VI. 調査結果分析についての反省
- VII. 提起される問題（ケースワーク用具作製の準備）

序

京都市青少年問題協議会から、青少年のニードとそれに答える社会資源についての基本調査の相談を受けたのは34年7月の事であった。青少年の欲求を刺戟する各種の社会悪の存在、特に有害文化財に関する論議の空転性（例えば青少年保護条例制定などにみられる）について、兼々、的確な基本資料の必要を痛感していた矢先であったから、私の学問的要求と青少年問題協議会の要求とが一致するのを知り、爾後、35年の4月に至るまで、一意、「青少年生活欲求調査」菊版P.210の完成に努め、昭和34年秋（十一月中心）及び昭和35年冬（2月中心）の時点における、京都市に在住する15才～18才年令青少年の生活欲求の静態的基本資料を獲得する事が出来た。従って、今後、この調査方式を繰返すならば、変動時点における生活欲求の変化についての比較検討が可能となるであろう。しかし、若し、この礎石に狂いがあるならば、徒らに trial and error を重ねることになるから、これに対して、技術的反省を加えておきたいという事と、更に、この調査方式はケース研究にも役立つ様に考案されていたから、もしこれを整備するならば、ケースワーク用具として、人格性格などの検査を主とする心理検査の他に、人格と社会との接衝における社会生活欲求の調査

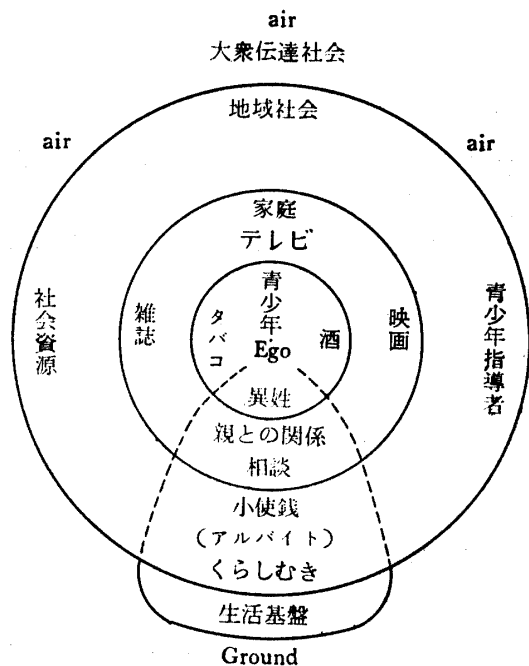
が、有力なケースワーク用具となり得るであろう。これに対する将来の研究の手がかりを明確にしておきたいというのが、本論考の目的である。

I. 調査仮説（調査目的）の反省

調査目的について序文において多少述べたが、青少年生活欲求の表出は、青少年と成人との社会的接点において見られる。adolescence は児童期と成人期との交錯であると説明されるが、青少年の生活欲求は、青少年の大人への接近度（これは後述する）においてみられるという仮説が本調査で採ったものである。この関係を図示したものが第一図である。

調査内容の適否については調査票についての反省の項に於て後述するが、ここでは調査内容を一覧しておく。

第一図 青少年と成人社会との接点を示す構図
（青少年生活欲求横断構造）



1. 生活基盤（家庭構造、親との同居の有無、家庭内の青少年の位置、家庭の暮し向き、親子関係、相談、小使等）
2. 生活欲求（映画—成人向映画及び青少年向映画、ストリップ及びヌード写真、煙草、アルコール飲料、薬品、パチンコ及びかけごと、刺戟文化財特に性雑誌、性知識の源泉、性的欲求及び性に関する疑問、結婚前性経験についての判断、スポーツ及びスリル、スタイル）
3. グループ及び余暇活動（グループ参加、余暇活動と昨日及び最近の休日の実際、ブラブラ歩き）
4. 青少年をめぐる社会的資源（青少年指導者への関心、文化資源の利用及び希望、社会福祉資源の利用）
5. 自己反省（不満の表現、欠点の表現、自殺意図）
6. 勤労事情調査（就労働機、就労態度、職歴及び転職、手取賃金、夜学、職場及び労働組合、職場の不满、住込者と家主の家族、大企業への感想）

調査は匿名姓を利用する集団質問紙法調査であった。本調査では訪問面接法は調査内容の刺戟性から不可能であった。

Ⅱ. 調査対象（調査見本抽出決定基準）の反省

最初、中学三年生である14才該当の少年をも含める予定であったが、児童期要素の混入を避ける為にこれを除外した。これは後述する事情による止む得ざる結果であったが、この14才少年の調査は将来の課題である。そこで中学卒業の15才より児童福祉法該当の18才未満を含むものとし、77,033人を母集団として、時間と労力と経費の節約のため、その $\frac{1}{50}$ の層化比例抽出による1,552人（公立高校409人、私立高校528人、定時制138人、地域青少年477人）の調査となった。この場合、最も困難を感じたのは地域青少年の把握であった。京都市全地域の高校に在学しない地域青少年の数字は一応つかめるが、地域自体における分布把握については、全然資料が存在しなかった。私がつかみ得たものは、一般的に言って、地域青少年の20～30%ではないかと思う。約10%は絶えず人口流動し、その余りの70～60%は、一定地区での徹底的な努力（即ち国勢調査的努力）によらねば存在はしても、接近し得ない母集団であろう。本調査の平均参加率は

20～30%	把握人口
70～60%	把握に困難な人口
10%	流動人口

25.25%であった。

Ⅲ. 調査項目（調査票）の反省

調査項目については、後述する如く、学校調査において、特に中学三年生への実施について、最も多くの批判を受けた。又、私立学校、特に女子高校に於いて、調査拒否を受けた。これらの批判或いは拒否は理由のないわけではなかった。例えば中学三年生については、別個の調査票を用意すべきである等であった。地域調査においては、項目に関する抵抗は全くなかった。学校調査における学校側の拒否の根本的誤謬は、本調査を社会調査として理解されず、教育調査として受取られた点にある。この見地は義務教育該当年令である14才の場合においては多少の根拠となり得るが、15才以上の場合においては理解不足であったのではないかと思う。調査には教室を利用したが、場合によっては、該当する学校の先生は傍観されてもよかったのであるが、しかし事實は進んで先生は協力された方が大部分であったのは有難かった。

抵抗を受けたのは、1) 性関係出版物の名称の公示について、2) 結婚前性経験についての意見の表明——これは、性経験そのものを聞くと誤解された様である。3) 酒、タバコ等は未成年者には法律的に禁止されているという考え方からの批判等であった。質問の表示は刺戟的ではあったが、趣旨はその様なものでない事を説明するのに多少の時間と忍耐を要した。

質問紙全般については、勤労青少年にとっては質問が多少多すぎたかも知れない。調査には約1時間かかったが、これは40分程度に圧縮すべきであった。また自由質問は解答率が一般的に低い。（第一表参照）例をあげると、青少年指導者の活動に対する意見を求めた場合、在学者において男11.90%、女8.90%の低率を示している。又、各種の不满の具体的表現を求めたのに対して、男12.04%、女14.29%に過ぎない。これは日本人が一般に社会的発言に不慣れであるという一般性によるのであろうが、自由質問には工夫しなければならぬ面があると思った。又、質問の意味が、調査者の意図通りに受取られなかった場合もある様である。地域青少年の場合など、調査場の様子から判断して解答をもちあぐねている者を多少見受けた。もっとも、中学すら十分に卒業していないと思われる青少年或いは精薄青少年と思われるものも参加していた。しかし、いずれの場合にしても、社会調査は、被調査者の能力によって、質問紙は用意せねばならぬ事を改めて感じた。

第一表 自由質問解答率

			文化施設への希望	
〔 〕は地域者			15.18	9.81
			〔16.25〕	〔16.50〕
			不 満 の 表 現	12.04
			〔16.25〕	〔16.00〕
			自己の欠点の表現	57.76
			〔46.93〕	〔55.00〕
			自殺企図の処理	52.50
			〔47.06〕	〔66.67〕
			職 場 へ の 不 満	地域〔31.91〕
				〔36.93〕
			大企業への感想	地域〔32.28〕
				〔20.45〕

以下質問紙を掲げてこれに対する反省を項目毎にゴシック活字で記入する。

「青少年生活欲求調査」質問紙

この調査は京都市に住んでいる若い皆さんの生活欲求（のぞみ）がどのようなものであるかを知ることによってあなたの方の生活環境をよりよくする対策の大切な資料となりますから積極的な気持ちでこの調査に参加下さるよう願っています。

京 都 市 青 少 年 問 題 協 議 会
京都府立大学社会福祉学研究会

A 記入についてのお願い

(1) 高校生の方へ

あなたにとっては特にむづかしい質問はないと思いますから必要項目を落さないように思いのまま卒直に書いて下さい。

定時制の人は勤労青少年に関する質問を忘れずに書いて下さい。

(2) 勤労青少年その他一般の方へ

最初に一般的な質問があり最後に勤労に関する質問がまとめられてありますからそれに注意して書いて下さい。家業手伝いの人も勤労青少年の質問に答えて下さい。

特に定まった仕事がなく家庭にいる方は最初の一般的質問はもれなく答えて下さい。

B 一般的な注意

1. たくさんの項目がありますから必要項目は落さないように記入して下さい。
2. 記入については特に指定した以外のものは質問の項目の所を一つだけ○でかこんで下さい。
3. 自由質問は思ったままを正直に書いて下さい。
4. ※印の所は学校に籍のある中学生高校生だけが記入して下さい。

あなたの性別 (男・女)	あなたの生年月日 (昭和 年 月 日生)	あなたの健康状態 (健康 病 弱)
あなたの住所の小学校名 ()		職 業
※ 中 学 年	※ 高 校 年	コース別
		<div>全日制</div> <div>普通科</div> <div>職業科</div> <div>家庭科</div>
		<div>定時制</div> <div>普通科</div> <div>職業科</div> <div>家庭科</div>
あなたの父母の職業あるいは家業 ()		
あなたの家族関係	1. 父 母 健 在 [実父母 養父母 実父継母 継父実母] ← 2. 父 の み [あなたの () 才のとき母が (死別, 生別)] 3. 母 の み [あなたの () 才のとき父が (死別, 生別)] 4. 父母ともになし [あなたの () 才のとき父がいなくなった] [あなたの () 才のとき母がいなくなった]	2.3. ノ項目ハ ココニモ入レ ルベキデアッ タ。
親との同居の有無	1. 同居している 2. 同居していない (理由)	
兄弟姉妹の数	男 () 人 女 () 人 あなたの順位は () (例長男, 次女, 末子等)	

解答ニツイテハ偶数頁（P. 2）ハ左余白ニ、奇数頁（P. 3）ハ右余白ニマトメテ記録サセコレヲミシン線ニヨッテ切取ッタナラバモット集計手間ガ合理化サレタロウ以下ドノ頁ニモ同ジコトガ言エル。

解答切取線

1

1. 2. 3. 4

2

A

1. 2. 3. 4

B

1. 2. 3. 4

1 あなたの家庭の暮らしは

1. 非常に楽だ 2. やや楽だ 3. やや苦しい 4. 非常に苦しい

2 あなたと両親関係は

A 父 親

1. 非常によい 2. ややよい 3. あまりよくない 4. 非常によくない

B 母 親

1. 非常によい 2. ややよい 3. あまりよくない 4. 非常によくない

C よくないと答えた場合それはどういうわけですか書いて下さい。

3 A あなたは親と相談しますか。

1. いつもする 2. 時にする 3. あまりしない 4. 全然しない

B 親以外では主に誰に相談しますか。

1. 兄姉 2. 親類 3. 友人 4. 先生 5. 雇主 6. その他（ ）

※ 4 A アルバイトについて「中学生及び高校生（全日制）は記入して下さい。」

1. 一年中定期的にしている。（例 家庭教師新聞配達等）

2. 不定期にしている。（例 春夏冬の休み又は日曜日等）

3. 何かやって見たいが適当なものがない。

4. 全然していない。

B アルバイトをするのは

1. 生活が苦しいから（家計の助け）

2. 小使銭がほしいから

3. 働くのが面白いから

4. その他（ ）

5 A あなたの先月分の小使はいくらでしたか。

（ ）円

B その金額についてどう思いますか。

1. しかたがない 2. もっとほしい 3. 特別なものもない

C この表は金銭出納簿です。

この一カ月につかった小使の使いみちを思い出して書いて下さい。不必要な箇所は斜線で消して下さい。

（この調査は小使だけについてです）

コノ番号ヲウツノ
ヲ忘レタタメ集計
上不便デアッタコ
ノ項目デハ金額ヲ
問題ニセズ、記入
数ノミデ集計シタ
ガ金額ニツイテモ
平均基準ニヨッテ
度数分布ヲ見ル必
要ガアッタ

項	目	金 額
		円
1. 服 装 代（ズボン シャツ ブラウス スカート等）	
2. 学 用 品（文房具代）	
3. 図 書、 雑 誌 代	
4. 映画、音楽会等の入場料	
5. 交 通 費	

- | | |
|---------------------------------|--|
| 6. 飲食費 | |
| 7. 喫煙代 | |
| 8. マージャン, 競輪等のカゲ事代 | |
| 9. 酒, ビール等のアルコール飲料代 | |
| 10. パチンコ代 | |
| 11. 化粧品, ポマード, パーマ代 | |
| 12. 装飾品 (ブローチ, イヤリング, ネックレス等) 代 | |
| 13. おけいこ代 | |
| 14. 貯金 | |
| 15. その他 () | |

6 小使のたりない時は結局どうしますか。

1. 親にたのむ
2. 姉や兄にたのむ
3. 友人に借りる
4. 質屋で金をつくる
5. 物を売る
6. その他 (具体的に) (コノ項目カラ) 「貯金ヲ引出ス」ガ大切ナコトガワカッタ

7 A あなたは月平均映画は何回ぐらい見ますか。

() 回

B あなたは映画を誰とよく見に行きますか。

ココデモ記号ヲ忘レテ集計ニ不便ガアッタ

1. いつも一人 2. () と一緒 (例 a. 学友, 学校外の友人, 同僚, 異性の友人, e. 親, 兄弟姉妹, f. その他)

…◎印, ×印ノ質問ハ成功シナカッタ, 省イタ方ガヨカッタ。映画名ハ邦画ヨリモ洋画ノ方ガ多く, 高校生趣味ニ偏シタ。地域者ヲ考慮シ, 邦画ヲフヤシ, 東映物, 裕次郎物及び西部劇ヲ入レルベキデアッタ。

C 次の映画のうちあなたが見た映画に○印, 最もおもしろかった映画一つに◎印, 最もつまらなかった映画一つに×印をつけて下さい。

- | | | | |
|--------------|--------------------------|-------------|--------------|
| 1. 黄色い老犬 | 2. 菩提樹 | 3. 狂った本能 | 4. 僕の叔父さん |
| 5. キクとイサム | 6. 危険なまがり角 | 7. 恋人たち | 8. 鍵穴 |
| 9. 老人と海 | 10. 狩り込み | 11. 鉄道員 | 12. すずらん祭 |
| 13. 悶え | 14. 殺られる | 15. 可愛い悪魔 | 16. ベリー |
| 17. 月夜の出来事 | 18. 大いなる西部 | 19. 裸のマヤ | 20. 12人の怒れる男 |
| 21. 一粒の麦 | 22. 肉体のパラダイス | 23. 十代のまがり角 | 24. 荷車の歌 |
| 25. 愛の鐘 | 26. 私は勝負する | 27. 惜春鳥 | 28. 赤いパンツ |
| 29. 隠し砦の三悪人 | 30. 鍵 (日本映画) ト名示スベキデアッタ。 | 31. 貸間あり | |
| 32. 父と娘 | 33. 狂った欲望 | 34. 母子草 | 35. 男性飼育法 |
| 36. すばらしき娘たち | 37. 海は狂っている | 38. 裸の太陽 | 39. 月見草 |
| 40. 海底からきた女 | | | |

D あなたは映画を見るとき, 主にどこで見ますか。

1. 封切館
2. 京極, 千本の二番館や三番館

6.

1. 2. 3.
4. 5. 6

7 A

B.

1. 2
- a. b. c.
- d. e. f.

3. 京極, 千本以外の二番館や三番館

8 A あなたはストリップショウ, **ヌード写真** をみたことがありますか。

1. ある 2. ない

ヌード写真ノ範囲ヲ広クトラレタ場合ガアル様ダ。コレハ好色写真ト限定スルベキデアッタ。別項目ニスルベキデアッタ。

B 見た場合, それをどう思いましたか。

1. もっとみたいと思った 2. 何とも思わなかった
3. もう見たくないと思った

C あなたがストリップ等をみようと思った動機は何ですか。

1. 好奇心から 2. 友人或いは年上の人にさそわれて 3. なんとなく

D あなたは **青少年が** ストリップショウやヌード写真を見ることはいけないと思いますか。
「青少年が」トイウ文字ハ省クベキデアッタ。道徳的判断ヲ誘イ出シテ解答ニ警戒的ナ偏リガモチコマルルノヲ避ケルコトガ出来タカモシレナイ。

1. いけないと思う 2. いけないと思わない 3. わからない

9 A あなたはタバコを

1. すったことがない 2. すったことがないがすいたいと思う
3. a. すったことがある b. すっている

B どうしてすい始めたのですか。

1. 好奇心から 2. 友人などにすすめられて
3. 一人前に見てもらいたいから (もう子供ではないから)
4. つき合のため

C どんな種類のタバコをすいますか, 一つだけ○をして下さい。

1. ゴールデンバット 2. 新 生 3. い こ い 4. 光
売出中止デアッタ
5. パ ー ル 6. み ど り 7. ホ ー プ 8. ピ ー ス
9. 富 士 10. きざみ煙草 11. 葉 巻 12. ク ー ル
13. 外国煙草

10 A あなたは酒・ビール等アルコール飲料を

1. のんだことがない 2. のんだことはないがのみたい
3. a. のんだことがある b. のんでいる

B それらをのむときはどんなときですか。

次の中からえらんで下さい。一つ以上でもかまいません。

1. 正月・祭・盆・クリスマス等
2. キャンプ・ハイキング・会合・同窓会等
3. 誕生日・祝日・記念日等
4. 普通の日
5. その他 ()

C 普通の日飲むのはどんな気持の時ですか。

1. 腹が立ったとき 2. 愉快な時 3. 友人にさそわれた時
4. 気持が沈んだとき 5. その他 ()

D **(アナタガノムトキ) ト入レルベキデアッタ, 主にのむ場所はどこですか, 一つだけ○をして下さい。**

1. 自分の家庭 2. 友人の家 3. 寮 4. 親類の家
5. バー・アルサロ・居酒屋 6. 洋酒喫茶 7. 下 宿
8. その他 ()

11A 次のような薬品を使ったことがありますか、あれば次の項目の中からえらんで○印をつけて下さい。

1. ある 2. ない

- | | | | |
|-------------|-----------|----------|------------|
| 1. プロバリン | 2. コントミン | 3. ヒロポン | 4. アドルム |
| 5. トランキライザー | 6. ハーモニン | 7. モルヒネ | 8. コカイン |
| 9. アトラキシン | 10. エリーナー | 11. カーフェ | 12. カフェイン |
| 13. アヘン | 14. カルモチン | 15. スパ薬 | 16. バルビタール |

B それはどこで知りましたか。

1. 新聞から 2. 友人から 3. 薬局から 4. 医師から
5. ブローカーから 6. その他(具体的に) ()

12A あなたはパチンコを

1. したことがない 2. したことがないからやってみたい
3. a. やったことがある b. やっている

B あなたはパチンコを 月平均何回しますか。

() 回

C パチンコはどういう気持ちのときにしますか。

1. 腹が立ったとき 2. 景品がほしい時 3. 友人にさそわれたとき
4. ただふらっと(別にどういう気持ちもないが)

D 景品を金にかえたことがありますか。

1. ある 2. ない

13 あなたはゲーム・トランプ・花札・麻雀・競輪等で金をかけたことがありますか。

1. ない 2. ある(具体的に何についてですか) ()

14A 最近あなたが読んだ単行本(文芸作品, 学術書なども含めて)雑誌(週刊紙, 読み切り雑誌, 婦人雑誌, など)あらゆる書物の中で内容がエロ的, ギャング的, スリラー的であ

コレハ「読物」トスルベキデアッタ

なたを刺激したのはどんな記事ですか。

書物名 { 解答刺戟内容ノ不明ナモノガ多カッタカラ

記事名 { エロ的ギャング的スリラー的ノ種類ヲ書カシメル注意ガ必要デアッタ }

B 次のような雑誌を読んだ事がありますか、あればその雑誌を○でかこんで下さい。

1. ある 2. ない

- | | | | |
|----------|-----------|---------------|-----------|
| 1. 夫婦生活 | 2. 女の科学 | 3. 千一夜 | 4. りべらる |
| 5. 実話特集 | 6. 風俗科学 | 7. 人間探求 | 8. あまとりあ |
| 9. 奇譚クラブ | 10. 世界裸画報 | 11. 百万人の夜 | 12. 実話と秘話 |
| 14. 風俗草紙 | 14. 現代読本 | 15. 笑の泉 | 16. 裏窓 |
| 17. 実話 | 18. 探偵実話 | 19. 現代生活のバイブル | 20. 明星 |

21. 平凡 ラ加エルベキデアッタ

C 上の様な雑誌はどんな風にして読みましたか。

1. 自分で買った 2. 貸本屋で借りた
3. 友人(学校内で, 学校外で)に借りた 4. 本屋で立ち読みした
5. 拾ったのを読んだ 6. 家にあったのを読んだ
7. その他 ()

15A あなたはきまって会う約束をするような特定の異性の友人がありますか。

1. ある 2. ない

B ない場合そうした友人が

1. ほしい 2. どうでもよい 3. ほしくない
- C ある場合、そういう友人に対して恋愛感情をもっていますか。
1. もっている 2. もっていない 3. わからない
- D その友人と将来結婚しようと思っていますか。
1. 思っている 2. 思っていない 3 (わからない) ヲオクベキデアッタ
- E 性についてあなたが疑問に思っていることは何ですか。

F 性に関する疑問は主に誰にたずねますか。

1. 父 母 2. 兄 姉 3. 学校の先生 4. 友 人
5. 医 師 6. その他 ()

G あなたのもっている性に関する知識は主に何から得たと思いますか。

1. 書 物 (書物名)
2. 友人 3. 大人の話 4. 学校での性教育
5. 映 画 (題名)
6. そ の 他 (具体的に) ()

H 結婚前の性経験についてどう思いますか。

あなたの考えにあてはまるところを○でかこんで下さい。

コノ「商売人相手」トイウノハ、風俗営業関係ノ異性一般ヲ意味シタガ理解サレナカッタ点ガアル様デアル、又A、Bニ対シテCニハ明ラカニ道徳的抑制ニヨル判断ガ加ッタ様デアル。

	A. 恋人同志の場合	B. 婚約者同志の場合	C. 商売人相手の場合
1. 握 手	a. よ い b. よ く ない	a. よ い b. よ く ない	a. よ い b. よ く ない
2. 抱 擁・接 吻	a. よ い b. よ く ない	a. よ い b. よ く ない	a. よ い b. よ く ない
3. 性 交	a. よ い b. よ く ない	a. よ い b. よ く ない	a. よ い b. よ く ない

16A あなたはスポーツをやっていますか。

1. やっている 2. やっていない

B やっていない場合の理由を次の中から選んで下さい。

1. へただから 2. 身体が弱いから
3. 費用がかかって用具が揃わないから 4. 一緒にやる友人がないから
5. 暇がないから 6. 場所がないから
7. その他 (「すきでないから」ヲ加エルベキデアッタ)

C 特にスリルのあることを好みますか。

1. 好む 2. 好まない

D 次の事項の中からあなたがスリルを感じるものを選んで下さい。

1. スクーター (オートバイ) 2. ロッククライミング (岩登り)
3. レスリング 4. けん斗 5. 空 手 6. 射 撃 (空気銃など)
7. 電車のただのり 8. ジャックナイフ (飛出ナイフ・あい口)
9. 映画のただ見 10. 怠学 (サボル) 11. ケンカ (メンキリ)
12. 異性尾行 (アトツケ) 13. 冷かし 14. 喫茶店等からハイザラ・コーヒー
ジャワンなどをもって帰ること 15. その他 ()

番号及ビ記号ヲ忘
レテ集計ニ不便

17A あなたはいつも行動をとともにする友達がありますか、あればどんなグループですか。

グループの名称は（ ）

それは学校外のグループですか はい いいえ

// 職場外のグループですか はい いいえ

// 学校のグループですか はい いいえ

// 職場のグループですか はい いいえ

B あなたのグループは主に何ををするのですか。

次ノ質問ガ不足シテイタ

あなたのグループは同性だけのグループですか (はい) (いいえ)

異性をまじえたグループならば、異性と同性の割合はどうですか

〔同性 名：異性 名〕

C あなたのグループは主に { どこに集りますか ()
何人位集りますか () 人位

D あなたのグループが出来た機会はなんですか。

()

E あなたはあなたのグループを活用していますか。

1. 活用している 2. まずまず参加している 3. やめたいと思っている

18 あなたは自分の服装のどのようなスタイルが好きですか。

好みについて具体的に書いて下さい。

洋装・和装(上衣・ズボン・スカート)	帽子・靴	髪型 ヘアスタイル	アクセサリ 化粧用品
色彩或ハ代表的ナ類型ヲ予メ設定シ テオクベキデアッタ自由質問デハ解 答ノ処理ニ苦シンダ			

19 河原町、四条、千本等繁華街をぶらぶら歩く時はどんな所に立ちよりますか。

1. 喫茶店 (a. 音楽喫茶, b. 純喫茶, c. 歌謡喫茶) 2. お好焼屋
3. 食堂 4. 射的 5. 百貨店 6. 木屋 7. 玉突屋
8. ピンポンヤ 9. パー 10. パチンコヤ 11. その他 ()

「映画館」が洩レタ

20 あなたは暇な時間をどのように使いますか。

娯楽 スポーツ 趣味 技能

について、一番多くの時間をさくもの一つを選んで書いて下さい。(下記の例から選んで)

	娯 楽	ス ポ ー ツ	趣 味	技 能	そ の 他
昼 休 み					
放 課 後 (仕事終了後)					
夜間(就寝まで)					
土 曜 日					
休日 (定休日) (日曜日) (祝 日)					
まとまった休暇 臨 休 正 月 夏 休 盆 冬 休					

学習, 仕事, 手伝はその他に入れて下さい。

I 娯 楽

映画・演劇(新劇・歌舞伎・レビュー歌劇等)落語・漫才・サーカス・狂言・能・音楽(クラシック・歌謡曲・ジャズなど)ファッションショー・講演会・展覧会(美術・工芸・手芸など)・雑談(喫茶を含む)・スポーツ・レコード・テレビ・ラジオなどによって見たり聞いたりしてたのしむもの(見物, 鑑賞等受身モノ)ト注意スル必要ガアッタ

II ス ポ ー ツ

- (1) 弓道・散歩・魚釣り・水泳・空気銃・ドライブ・スキー・スケート・自転車…等
- (2) 相撲・剣道・柔道・空手・ピンポン・テニス・ランニング・キャッチボール…等
- (3) 野球・ソフト・バレーボール・バトミントン・バスケットボール・ピクニック・キャンプ…等

III 趣 味

- (1) 声楽(独唱・歌謡曲・詩吟・謡曲・浪花節等)
器楽(ピアノ・ヴァイオリン・ギター・琴・三味線・尺八等)
読書(創作・詩作等)
美術(図画・手芸・書道等)
写真・蒐集(切手・貨幣・人形・マッチ・その他をあつめる)
旅行
飼養(犬・小鳥)・栽培(草花・野菜)
- (2) 碁・将棋・マージャン・トランプ・コーラス・ゲーム・ダンス…等
- (3) 読書会・研究会・社会見学・社会奉仕・演劇クラブ・児童文化クラブ・能・狂言・舞踊・オーケストラ・宗教活動・政治活動…等

IV 技能修得

自動車運転・ラジオ(テレビ)組立・工作(木工・金工)・実験・和洋裁・手芸・料理・育児・茶道・花道・書道・ソロバン・簿記・タイプ・英会話(外国語)・通信講座(種類)

21 あなたは昨日及び最近の休日の暇な時間をどのようにして使いましたか。

上述の娯楽・スポーツ・趣味・技術修得・その他(学習・仕事・手伝等)の中からえらんで

次の例にならって書いて下さい。

書くときは

映画なら・映画館の名前

映画の題名

ラジオなら・放送の名前

番組の名前

読書なら・本の名前

散歩なら・場所（円山・加茂川・河原町・千本・近所のお寺・堤防等）

等を具体的に書いて下さい。

昨日 放課後 （例）	時 間	午後 12時 ～ 1 ～ 2 ～	～ 3 ～ 4 ～	～ 5 ～ 6時
	種 類	友人と話し合う	友人とテニス	読書（青い山脈）
	場 所	友人の家で	深草中学校で	家庭で

次の欄に記入して下さい

仕放 事課 終了 後後	時 間	午後 12時 ～ 1 ～ 2 ～	～ 3 ～ 4 ～	～ 5 ～ 6時
	種 類			
	場 所			

夜 間 （例）	時 間	午後 6時～7時	～8～9～	～10～11～	～12～	午前 1時～2～3時
	種 類	外食 ライスカレー	散 歩	テ レ ビ 西鉄～南海ナ イター	就 寝	
	場 所	ニコニコ食堂	千 本 通	友 人 の 家	帰 宅	

次の欄に記入して下さい。

夜 間	時 間	午後 6時～7時	～ 8 ～ 9 ～ 10 ～ 11 ～ 12	午前 1時～2～3時
	種 類			
	場 所			

最近の （日曜日） 休日 （例）	時 間	午 前 中	午 前	夜 間
	種 類	ブラブラ過す	昼食 映画「ワーロック」 散歩	夕食 テレビ 巨人～阪神ナイター
	場 所	家 庭	家庭 美松大劇 新京極	店 自 分 の 店

次の欄に記入して下さい

最近の （日曜日） 休日	時 間	午 前 中	午 後	夜 間
	種 類			
	場 所			

コレハ漫然ト羅列
シスギタモット種
目別ニ整理ラシテ
提出スベキダ

22A あなたの近くの青少年指導者を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

B 知っているならその人は次のどれにあたりますか。○でかこんで下さい。

1. 児童委員 2. 青少年生活指導員 3. BBS 4. 社会福祉主事（ケースワーカー）
5. 保護司 6. 民生委員 7. 青年会長 8. 子供会長
9. 婦人会長 10. P.T.A.会長 11. P.T.A.校外指導員
12. 少年調査官 13. 体育指導員 14. 婦人少年室協助力員 15. 年少労働福祉員
16. 少年補導委員 17. 児童福祉司

C こういう人の活動に対して考えがあったら言って下さい。

23 あなたは、あなたの時間を有効に使うために、次の様な京都市内の施設或いは、行事を利用していますか。

A 利用しているものを○でかこんで下さい。

1. ユースホステル 2. 社会教育会館（分館） 3. 巡回文庫 4. 府立図書館（分館）
5. アメリカ文化センター 6. 英国文化図書館 7. YMCA 8. YWCA 9. 科学教室 10. 博物館 11. 美術館
12. フィルムライブラリー 13. 地域子供会 14. 地域クラブ 15. 青年講座（青年学級）
16. 若い人の教室 17. 日曜スポーツ教室 18. 土曜コンサート 19. 市民狂言会 20. 市民寄席 21. 市民劇場 22. キャンボリー
23. 市民映画会 24. 市民美術アトリエ 25. 学区民運動会
26. 各種運動大会 27. 労音 28. 労映 29. 労演

B 上の施設や行事について不足しているもの、何かあなたがほしいと思うものがあれば書いて下さい。

（例えば青少年の家、青少年センター等）

1. 種類についての希望……………
2. 内容についての希望……………
3. 場所についての希望……………
4. 利用時間についての希望……………

24 あなたは次のような社会福祉機関や制度を利用したことがありますか。

あればその項目の番号に○印をして下さい。

1. ある 2. ない

1. 職業安定所 2. 職業補導所 3. 児童相談所 4. 少年補導所
5. 就労指導制度 6. 職親制度 7. 修学資金制度 8. 修業資金制度
9. 育英資金制度 10. 授業料減免制度 11. その他（ ）

教育研究所、保健所、民生安定所、等ヲ加エルベキデアッタ

25 あなたは自分の不満を具体的に示すことが出来ますか。

コノ言葉ヲ省イタ方ガヨカッタ質問ノシカタニ工夫ガタラナカッタ。

（例えば学校について、友人について、隣近所について、京都の行事、習慣について、宗教について、日本の政治について等）

あったらそれを自由に書いて下さい。

（職場についての不満は別の場所に記入してもらいます）

コノ欄ガ狭マスギタ

26 あなたの欠点と思うものを簡単に書いて下さい。

「人格欠点表」ニチェックサセルベキデアッタ

27 A あなたは死にたいと思ったことがありますか。

1. ある 2. ない

B 思った事があったら、それはどういうわけでしたか。次の中からその動機になったと思うものを○でかこんで下さい。

1. 家が貧しいため 2. 小使が不足するため 3. 賃金が安い
4. 家庭がうまくゆかぬため 5. 他の人（友達、先生、雇主）等とうまくゆかぬため
6. 恋愛の悩みから 7. 学業や仕事等が出来ないから 8. 身体が弱い
9. 身体が他の人と異ったところがあるから 10. 将来に対する希望がなくなったから
11. 学業仕事の重荷のため 12. 身分や地位の不満のため 13. 現在の社会への不満のため

C あなたはこの問題をどのように処理しましたか。

自由に書いて下さい。

勤労青少年用質問紙

(これは勤労青少年、家業手伝
の人だけが記入して下さい。)

あなたの職種（具体的に）

1. 通勤 2. 住込 3. 家業手伝

住込の人はその出身地（ 府県）

1 あなたはどうして現在の職場で働くようになったのですか。

1. 自分が働かないと家庭が困るから 「学校カラ世話ヲサレタカラ」
2. 働くほうが勉強より好きだから 「家ニイテモ致シ方ガナイカラ」
3. 技術を身につけ立派な腕の持主になるため 「頼マレタカラ」
4. 自分で自由になるお金がほしいから 「高校ニユケナカッタカラ」等、
5. 親兄弟がきめた仕事だから 受身ノモノヲツケクワエル必要ガ
6. 別に適当な仕事につけなかったから アッタ
7. 学資かせぎ
8. その他（具体的に書いて下さい）（ ）

2 あなたは仕事を

1. 大いにたのしくやっている
2. まあやっている
3. いやいややっている

3 A あなたの職歴を書いて下さい。

職 の 変 っ た 月 日	職 種
昭和 年 月 日	
昭和 年 月 日	

昭和	年	月	日	
昭和	年	月	日	
昭和	年	月	日	
昭和	年	月	日	

B どうして変りましたか。

1. 賃金が低かったから
2. 同僚雇主と折合が悪かったから
3. 技能（ウデ）がみがかれないから
4. 始めから腰掛だったから
5. 何となく面白くなかったから
6. 自分の気持ちを理解してくれないから
7. その他（ ）

4 A あなたの先月の手取り賃金はいくらでしたか。

（現物支給がありましたらそれも書いて下さい。）

（ ）円 現物支給（ ）

B 次の経費は月いくらですか。

親への仕送り……………	円	小使銭ハ調査表第一部 5ニ書 イテ下サイトツケ加エルベキデ アッタ。
住込の食費……………	円	
その他毎月定まって支払うもの……	円	

5 夜学について（通信教育ノ利用ガ洩レタ）

A 夜学にいらっていますか。

1. 行っている
2. 行っていない

B 行っていない場合

1. 行きたいと思う
2. どうでもよい
3. 行きたくない

C 夜学にいかない理由は

1. 時間がない
2. 学資がない
3. そんな意志がない
4. 雇主が便宜をはかってくれない
5. 家事家業を手伝わなければならない
6. 行く必要がない
7. その他（具体的に書いて下さい）（ ）

6 労働組合について

A あなたの職場には何人働いていますか。

（ ）人

B あなたの職場に労働組合がありますか。

1. ある
2. ない

C あなたは労働組合は必要だと思いますか。

1. 必要だ
2. 不必要だ
3. わからない

D 不必要と答えた場合、それは何故ですか。

E あなたはストライキをどう思いますか。

1. 当然の権利だ
2. わからない
3. いけないと思う

7 あなたの職場について不満があればそれを具体的に自由に書いて下さい。

（雇主、同僚、職種、技術、労働時間、労働条件、賃金、福祉厚生設備等について）

順序ヲ反対ニシテ
BトCトハ質問ス
レバヨカッタ

8 あなたが住込の場合に

A 雇主の家族と一諸に寝起し食事をしていますか。

1. 一しょである { 1. 一しょでよい
2. 一しょにたくない
2. 一しょでない { 1. 一しょにしたい
2. 一しょにたくない

B 雇主の家族とは別に共同の宿舎があってそこから通いたいと思いますか。

1. はい 2. いいえ

9 あなたが30人以下の職場に働いているなら大企業に働いている人にどんな感想をもっていますか。

Bノ質問ハ正確デ
ナカッタ為ニ解答
ガ乱レテ役ニタタ
ナカッタ
【Aの答えの中で
1.2と2.2の場合
に】ト訂正語句ヲ
入レルベキデアッ
タ。

IV 調査実施方法の反省

1. 学校調査について

府立高校4校、市立高校6校、私立高校6校（男子3校、女子3校）公立校男子264・女子145、定時制男子94・女子44、私立校男子248・女子281、小計男子306・女子439、総計1075名について実施した。市立高校においては、京都市所管という行政系統から、そのまま受入れてもらえたが、他の高校の場合に於いては、それぞれの事情が、予定の変更を止むなくさせる事になった。これは、無作為抽出法を現実的に困難ならしめる一例である。既に述べた様に、調査内容について抵抗のあったのは、学校調査であったので、予め説明会を開いて、これが協力方に努力を払い、討議を重ね協力を求めたが、某私立女子高校では、補導部長が受け入れていながら、職員会議において拒否されるという事が起った。この場合には結果的には、違った宗教的要素の高校に代える事によって反って利益になった。私立校では宗教的要素が学校選定の大切な点であった。

実施は、学級のホームルームによって、学校側に一任する以外にはより良き方法はない。この場合、特に実施される先生に協力方の御願の文書を次の様に出した。学校の場合は実施予定日については、ほとんど狂いはなかったが、準備と実施に約4週間が必要であった。

青少年生活欲求調査に御協力いただきます
先生方へ御願い

調査内容

1) この調査の項目の概要は、次の通りでございます。

1. 青少年の生活基盤（暮らし向き、親との関係）
2. 青少年の生活欲求充足のための小使等の使途
3. 青少年の生活欲求の具体的事項
4. 青少年の閑暇時間の使い方の具体例
5. 青少年指導者及び青少年のための社会資源の利用度
6. 青少年個人の不満、希望、欠点及び自殺意図
7. 勤労青少年の職場に関する事項

以上の質問は学校教育には直接関係のないものでありまして、主として生徒の社会及び家庭における生活に関連しているものであります。生活欲求に関する具体的事項（映画、ストリップ、煙草、酒、薬、パチンコ、読書、異性、性意識、スポーツ、スリル、グループ、服装、散歩等）については、生徒の生活経験を越えた質問があるかもしれませんが生徒をとりまく社会悪として青少年問題協議会が特に関心をもっている社会現象である事を特に御諒解いただきたく存じます。

2) 調査時間は、大体30分以内で出来ると思います。ただ定時制の場合は勤労に関する質問が付加されるので多少のびると思いますのでその点御諒解下さい。

記入の完了致しましたものは、一応記入について忘れていることがないかどうかを御検討いただき、自由に退出してもらって下さい。

3) 調査について説明

内容について特に説明を要するものはないと思います。調査表第一頁のA（記入についてのお願い）及びB（一般的な注意）を生徒に読んでいただければ、それ以外は、文字の不明などの説明などで充分だと思います。

解答態度についてはお互いに相談をせず静かに正直

に書くよう御指導いただければ幸いです。(刺戟的な項目に対して茶化したい心理のものもあるかも知れませんが大部分は正直に解答されると思います。

4) 調査時期

11月10日～20日間

学校の御都合のよい日で結構です。

Test に立会が必要とお考えでございましたら、京都市民生局内青少年問題協議会事務局(電3-2709)にその旨御連絡下さい。

5) 調査票の回収

調査票と同時に御送附いたしました別紙封筒に入れて、封印の上11月21日(土)迄に青少年問題協議会までお届け下さい。

集計は、府立大学に於て行い、結果については昭和

34年2月末までには御報告したいと思います。

2. 地域調査の反省

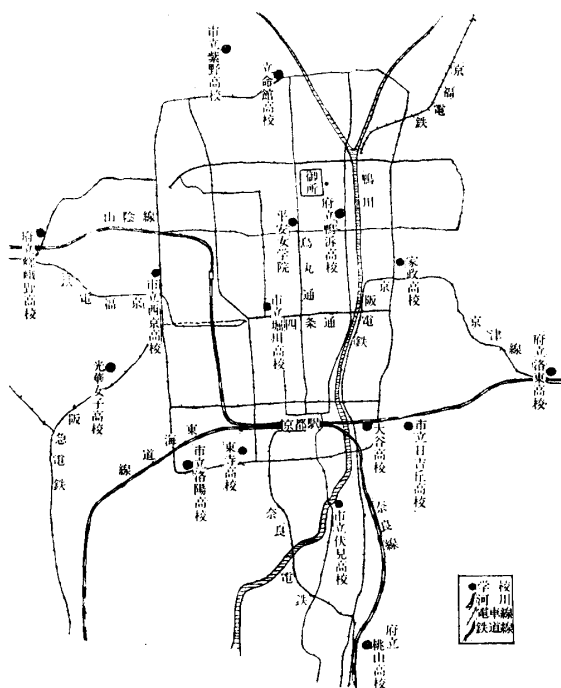
学校調査は予定からあまり狂わないで、これを実施する事が出来たが、地域調査は計画の最初から難航であり、各地域地域の実状の相違によって、最後まで困難がつきまとった。しかし立誠地区のプレテストの際の失敗のため反って、被調査者の動員方法、調査場での実施方法等によりよき工夫をもつことが出来た。

最初の困難は①基礎母集団の決定であった。これは、京都市教委の中学生進路調査資料による24,888名、及び労働基準局管内年少労働人口21,753名を参考とし、高校に通学せざる地域青少年15～18才の総数を京都市全市において24,888名とした。本調査は $\frac{1}{50}$ 縮図であったから、458名を、地域調査の見本数とした。

次に②調査地区の撰定にかかった。

形式論的には、等質の社会経済構造、社会文化構造による層化を行い、これらの層化群毎に無作為撰定が行われるのがよいとされ、層化作業自体は主として、百分比による数量的基準によって、工業地帯、商業地帯、農業地帯、住宅地帯の層化人口比例法がとられているが、この方法によっては、本調査目的に適合する地域青少年を取るに適しない。即ち、京都には京都独特の郷土産業が中小企業或は零細企業の規模をもって営まれ、居住地と職場が同一場所に存在している場合が多い。その典型的なものとして、住込青少年がある。勿論、大企業従事の青少年もあり、通勤青少年の方が遙かに多く存在しているが、これらの大企業従事の青少年については例えば、島津工場などの場合、事業場調査が従来なされ、今後も、それが容易になされ得る事、広く、京都市に散在している一般通勤青少年については、その生活欲求は、高校生一般からさほどの偏差はないであろうとの想定によって、これを一応軽く扱った。そして、本調査では、量的考慮よりも、質的考慮をより高く採り、第二表の如きI地区の撰定を全市地域を考慮して撰定した。

第二表 学校調査地点 {府立4校
市立6校
私立6校} ・印



第二表 地 区 撰 定

本調査において採用した地域類型		京都市教育研究所(1950)の地域類型の研究に従った分類	
I 歓楽街地区	立 誠	サービス業地域	(商業地帯)
	千 本	北部混合地域	(混合地帯)
II 郷土産業地区	仁和(西陣)	西陣工業地域	(工業地帯)
	朱三(京染)	洛西工業地域	(工業地帯)
	今熊野(陶器)	東山混合地域	(混合地帯)

Ⅲ 問屋地区	明 倫……………	卸売業地域	(商業地帯)
Ⅳ 未解放地区	崇 仁……………	洛南工業地域	(工業地帯)
Ⅴ 零細企業地区	有濟栗田(一部含未解放地区)……	サービス業地域	(商業地帯)
	六 原……………	サービス業地域	(商業地帯)
	山 王……………	洛南工業地域	(工業地帯)
Ⅵ 工場地区	陶化, 東和……………	洛南工業地域	(工業地帯)
	西 院……………	洛西工業地域	(工業地帯)

〔備考〕本調査に於いては教育研究所類型五地帯中「農業地帯」「住宅地帯」カラハ標本ヲ抽出シナカツタノハ上述ノ地域青少年生活欲求調査目的ノ性格(本調査反説)ニヨルモノデアル。

地区撰定の反省

1) 郷土産業地区としての西陣については、仁和を撰んだが、翔鷹、柏野も考えるべきであったかもしれない。しかし所謂「西陣」という古典的地区は省いたのは、西陣の錯綜性の中で、「仁和」が最も平明であると考えたからである。

2) 京染地区についても、所謂、京友禅業の古典的地域である堀川地域はこれを省いて「朱三」とした。この場合も、北東部にやや孤立して存在している「第二修学院」の撰定も考慮に入れるべきであったかもしれない。しかし「朱三」を省くことはできない。

3) 未解放地区については、田中地区も考えられたが、崇仁に落ちついた。

4) 零細企業地区については、旅館業、風俗営業なども考えるならば、「新道」「菊浜」なども考えられたが、調査の困難から取り止めた。

5) 工場地区については、「山王」をとりやめて、「唐橋」をとるべきであったが、山王地区の自発的参加を受入れる事になったので、同じ方向に偏在した点が欠点である。

6) 本調査では、農業地帯、住宅地帯を省略したのは本調査の目的である地域勤労青少年を得る見込みが少なかったからである。

③次に地区自体の地域青少年の母集団の把握の困難があった。先ず本地域に居住せず他地域からの通勤青少年はこれを除外する事にした。これは居住地中心の方針をとったからである。そこで居住青少年は、一応、地区の住民登録票でつかむ事が出来る。(この場合でも名目のみで、居住していない青少年があることがわかった。)この住民登録票と、この地区の中学校卒業生名簿を照合して、高校進学青少年を省く作業を行い、高校に在学せざる青少年(通勤、住込、家業、無業)をつかむ作業を修了した。これによって、総数4299名の地域青少年をつかむ事が出来た。これから485名の見本をとる作業段階

となった。

しかしながら、ここでも亦困難が現われた。

それは④地区の参加率が全く、予想が出来ない事であった。そこで、調査を可能ならしめる便法として、一応、約三分の一の参加があるものと想定して、逆に3倍の見本数を乱数表によって抽出して、案内状を出してみようと考えた。

かくて、十月十三日、新京極、河原町を含む京都の繁華街の立誠地区をねらって、第一回のプレテストが行われた。そして、該当者へ黄色のハガキによる下記の如き案内状を発送した。

勿論、地域有力者を訪問して、その意見を聴き、又その協力を求め、当日は、調査係員が、調査室、受付案内標示板、参加者に渡す粗品、調査票、消ゴム付鉛

毎日元気でお仕事におはげみのことと思います。このたび京都市青少年問題協議会では若いみなさん方の「のぞみの調査」を次のようようで行い、みなさんの生活かんきょうをよりよくしようと思います。

この調査はあなたの御協力がないと出来ませんので、おいそがしいところをおそれいりますがぜひ御参加下さるようおねがいします。

記

と き 十 月 十 三 日 (水)

午後2時 ～ 午後4時

と ころ 立 誠 小 学 校

なお、お集り下さる時にはこのハガキをお持ち下さい粗品をさしあげます。もしあなたが高校(定時制を含む)に在学中であれば学校の方で調査させていただきますからその時に御協力願います。

筆、鉛筆削、等を用意し、万般確認を了えて待機していたが、案内状発送146名に対して、女子青年(それも、来場をあまり期待していなかった花街の先斗町・木屋町からの参加であった)の三名が現われただけに止まった。これは、文字通り泰山鳴動して鼠一匹という状態となっ

た。この結果に対して、失望と周章の中で次の反省が行われた。

案内状発送のみでは、被調査者の動機化をつくり出すには不十分である。又、1) 発送された物にも間違いがある。2) 未着で返却されたものが12名ある。3) 雇主、家人の無関心、或いは雇主の握りつぶしで、本人に郵便が渡っていない場合がある。4) 本人に郵便が渡っている場合でも、本人自身が無関心で、紙にってしまう場合、青少年問題協議会からの案内に対して、ブラックリストにのっているのかと警戒した場合、気が弱くて家人や雇主に出席を申出でられない場合、実際に忙しくて出られない場合、調査場近くまで来ていながら入らない場合。

(これはその後の調査にも起り得たので、積極的に玄関から出て、被調査者らしい人を招き入れた事が度々ある) などが考えられた。

そこで第二回からは、地域有力者の協力を確認し、被調査該当者の動員に援助を受けるために、先に記した黄色の案内カードの他、地域有力者から、被調査者に手渡す桃色カード及び、地域有力者への青少年問題協議会長よりの依頼状を発送する事になり、各地区それぞれの性格に応じて、地域有力者より握る組織を活用する事になった。この場合、市会議員、町内会長、市政協力委員長、少年補導委員長、青少年生活指導員等、各種各様の人の協力

を求め漸次、軌道にのつて、これを実施する事が出来た。

調査参加数及参加率は第三表の通りである。

御 願 ひ (桃色カード)

京都市青少年問題協議会の依頼で 皆さん方の「のぞみの調査」をすることになりましたので 既に御案内がいつていると思います。

御願ひするのは あなたがくじにあたられたためで少しの心配もいりません。

調査には名前は書き入れませんからあなたに迷惑のかかることは決してありません。御案内の時間何時こられても差し支えありませんから都合のよい時に気楽にきて下さい。

(とき) 月 日 () 後 六時～九時

(ところ)

京都府立大学社会福祉学研究会
あなたの地域の御世話役 ()

会長よりの依頼状

謹啓 時下貴台愈々御清祥の御事と存じ上げます。平素は本市青少年の保護育成につきまして種々御配慮賜り厚く御礼申し上げます。

このたび京都市青少年問題協議会におきまして、青少年の生活環境の向上と保護育成の対策樹立のために、京都府立大学社会福祉学研究会に委託して、勤労青少年(十五才～十八才以下)の欲求調査を行うこととなり、市内で働らく青少年の多い十数学区を選定いたしました。

つきましては、貴学区において、左記により本調査をさせて頂くこととなり、種々御迷惑をおかけするとは存じますが、何分の趣旨御賢察の上、よろしく御協力下さいますようお願い申し上げます。

追而 近日中に京都府立大学社会福祉学研究会より、協助力依頼について「お願い」を持って上ることになって居り、参上の節はお手数ながら配布方ならびに出席方についてお口添え賜りますようお願い申し上げます。

記

日時 月 日 ()
午後 時 時

場所 昭和 年 月 日

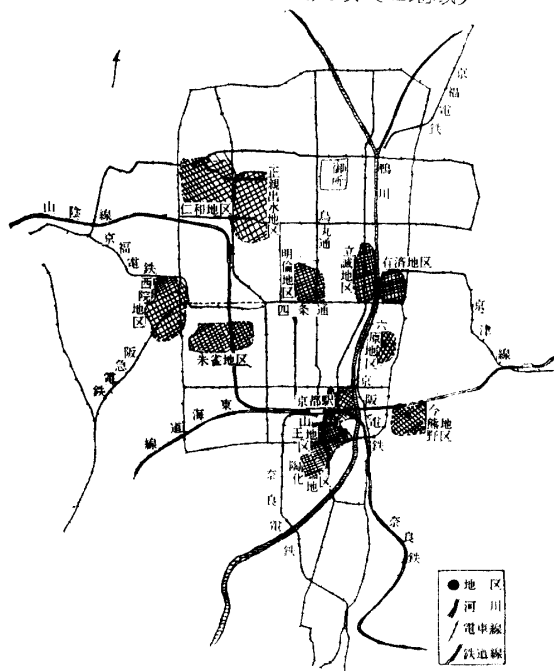
殿

京都市青少年問題協議会長
高山 義三

第 三 表

地 区	実 施 日	調 査 参 加 数	参 加 率	方 法
立 誠	34年10月13日	女 3 男 22 女 26 } 51 名	34.93%	1) 自発参加, 集団自記調査 2) 密封封筒ニヨル留置回収法
崇 仁	11月11日	男 26 女 33 } 59	32.96	自発参加 (自治会組織動員)
山 王	11. 22	男 19 女 25 } 44	27.16	地域指導者の自発的申入 1) 集団自記調査 2) 密封封筒留置回収法
有 濟	12. 8	男 26 女 8 } 34	24.29	地域有力者参加幹旋ニヨル自発参加, 集団自記調査
仁 和	12. 11	男 24 女 12 } 36	14.12	全 上
千 本	35年1.8	男 20 女 19 } 39	20.31	全 上
明 倫	2. 4	男 29 女 5 } 34	23.78	全 上
六 原	2. 15	男 14 女 13 } 27	16.89	全 上
陶化・東和	2. 23	男 26 女 19 } 45	24.46	全 上
壬 生	2. 26	男 49 女 20 } 69	29.87	全 上
西 院	2. 21	男 13 女 13 } 26	27.07	町内組織密封封筒留置回収法
今 熊 野	2. 28	男 9 女 4 } 13	27.08	少年輔導員密封封筒留置回収法
		平均	(25.25)%	

第三図 地域調査区域 (12地域)



以上の如く地域調査については一応の方法をレール化する事が出来たが、地域組織を使う事は、地域の勢力バランスの中に立入る事で容易な事ではなかった。これは矢張り、青少年問題協議会の力がなくては、到底出来る事ではなかった。しかし御蔭でこの調査の中で、市陽学校（教護院）から帰ったばかりの青少年も参加し、精薄少女も父母同伴で加わった。又、地域地域に性格が参加者の服装態度の中に現われ、これを写真化すればよいと思ったが、調査効果を阻害する点を恐れて取り止めた。住民登録による案内であつたので、被調査者の保護者などの中で養親関係等、或いは内縁等の身分関係の暴露を恐れて、秘かに青少年の調査を拒わりに来た者もあった。

以上、実施期間のずれ（約三カ月）或いは調査方法が集団自記法と密封封筒留置回収法の二方法となり、又、時には被調査者の動員は各地区に一任するなど、方法の同一性を保てなかったが、自発的参加の方針はくずさず、参加についてコントロールを避けた事は誇ることができ

ると思う。

V 調査集計についての反省

調査仮説の設定、調査項目の決定と同時に、集計構想が coling されるならば、もっと大量の標本を扱い、機械集計を行い得るのであるが、集計の coling は矢張り、第一回のテストが終わってからなされた。

主質問と関連質問 (sub-question) との関係、択一集計と複数集計との関係、記入、無記入の取扱い、自由質問の取扱い、及びグループ、余暇活動の時間空間的表現、スタイルの類型処理等、多様な質問形式をとったので、

集計が簡一化されず、集計者相互の連絡調整、誤記の補正監査などに、可成りの延人員と延時間とを要し、決して合理的な集計人員の使い方ではなく、人海であった。調査票の記入についても簡易化出来る事は既に述べた。講義、研究、試験、或いは文化行事等の合間を縫っての作業であり、また約九カ月に及ぶ作業であったので、調査技術としての集計は誇るに足るものは何一つなかった。手による集計、計算機による % 算出、男女差の χ^2 検定が行われたにとどまる。唯、本調査の性格から単なる数量的統計に終らしめず、質的把握に努めた。数量的分析で見過されやすい少数についても、社会悪的数量はこれを見捨てる事なく検討した。沢山の黄色の大豆の中に僅かな黒大豆が交っているのは簡単にわかるのに、数量的統計では見逃され勝ちであるから。又、調査票全体を整理すると、それは一個のケース研究となる様に仕組まれてあったので、在学者の高校種別、地域者の職業形態別、男女別、家庭類型別の二十個のケース研究を付加して総合的理解を得る様につとめた。

VI 調査結果分析についての反省

調査結果の一般的分析は、別に既刊されている「青少年生活欲求調

査」昭和35年5月京都市青少年問題協議会刊行 (P. 210) を参照していただきたい。

ここでは、それに示されている分析 (平面的な分析に止まっているが) に対する一般的反省を試みたい。在学生徒調査と地域青少年調査を一般的に比較して、地域青少年の方が在学生徒よりも、生活欲求的にはより成人社会に近いという事は言われるが、しかし下表において見られる様に、1) 性雑誌の閲覧 2) デートの約束のある異性 3) 喫煙 2) 小使金不足の工面等については地域青少年の方が在学生徒よりも、より成人に近いと言える。しかし、1) アルコール飲料の飲酒 2) パチン

第四表 青少年の成人接近度 () は地域者の %

	男	女
① アルコール飲料 $\left\{ \begin{array}{l} 1. のんでいる \\ 2. のんだ事がある \\ 3. のみたいと思う \end{array} \right.$	在学者 80.37% 地域者 (81.23)	60.78% (61.00)
② パチンコ $\left\{ \begin{array}{l} 1. やつている \\ 2. やつたことがある \\ 3. やりたいと思う \end{array} \right.$	53.93 (53.68)	23.03 (24.00)
③ 性 雑 誌 閱 覧	44.84 (55.60)	33.05 (46.00)
④ 煙 草 $\left\{ \begin{array}{l} 1. のんでいる \\ 2. のんだ事がある \\ 3. のんでみたいと思う \end{array} \right.$	33.50 (40.79)	4.26 (5.50)
⑤ ストリップ $\left\{ \begin{array}{l} a) もっと見たい \\ b) 見ても悪くない \end{array} \right.$	23.81 (21.94)	11.59 (6.18)
⑥ 成人向映画観覧特定種目 $\left\{ \begin{array}{l} a) もっと見たい \\ b) 見ても悪くない \end{array} \right.$	14.57 (18.41)	3.44 (5.50)
⑦ 成人向映画観覧特定種目 $\left\{ \begin{array}{l} a) もっと見たい \\ b) 見ても悪くない \end{array} \right.$	17.69—10.89 (14.41—6.50)	13.01—1.41 (12.50—4.00)
⑧ 全 (全集計)	36.29 (38.43)	17.83 (26.36)
⑨ 性 交 肯 定 意 見 $\left\{ \begin{array}{l} a) もっと見たい \\ b) 見ても悪くない \end{array} \right.$	20.63—8.74 (13.36—4.33)	3.62—1.92 (5.50—2.50)
⑩ デ イ ト 欲 求	13.70 (19.85)	8.10 (15.00)
⑪ 小使金不足の工面 $\left\{ \begin{array}{l} a) もっと見たい \\ b) 見ても悪くない \end{array} \right.$	4.78 (11.55)	0.64 (5.00)

コ経験 3) 成人向映画の観覧に於いては地域者と在学者とは殆んど変らない。又、1) ストリップやヌード写真に対する態度や、2) 性交についての肯定意見等、反って、在学者の方が、地域者を上まわっているというものもある。〔但し性交意見については無記入者が非常に多い。〕

尚、男女差について著るしく女子の方が一般的に低率である事実から、この生活欲求調査が著るしく、男子に偏向しているのではないかという事が反省された。女子についての欲求に関して、女子に高率が出ているのはスタイルに関する自由記述、不満の表現においての、隣近所、学校、職場、友人などについての不満、主として人間関係上の欲求が強い事がわかり、これは潜在的な性格をもちやすいものである。親との問題、親との相談、映画への親との同伴なども女子の率が男子よりも高い。又、小使賃の使途に於いて、装飾品或いは化粧品等の中に女子の欲求が強くあらわれる。こうした点で、この調査は男子の欲求に偏しているのではないか。これは最初から気のついていた所ではあるが、改めて、この事を教えられ、将来の研究にまきたいと思う。

又、地域者と在生徒の中間的存在として、定時制高校の生徒がある。この定時制生徒は、在生徒の中に含めて集計したが、これは独立させて、もっと精密な見本を作って、検討する必要がある。現在までの資料では、定時制生徒の社会意識が最も高い。地域青少年については、中小零細企業の中でかなり安定した姿をもっている様に思われるが、定時制生徒は不安定のまま流動している様に思われる。今回の調査で、定時制生徒の見本提出については、努力が不足した様に思う。

成人社会への近接度がより高いという点から、地域者調査の分析を主として、在学者調査をこれと対照し、青少年の一般的傾向を指摘してみたい。

地域青少年の就労事情は、先に見本抽出の所で述べた様に、大企業並に一般的な通勤産業を比較的軽視して、中小零細企業に焦点をあてたので、住込率は137名(男101名 女35名)28.72%で相当に高率である。(通勤者52.20%、家業者9.85%無業者9.22%)。而して30人未満の職場従事が男 66.15% 女子43.71%に及んでいる。男子の就職動機は、技術をみがくためという理由が多く、転職理由の主なものも「腕がみがけぬ」ためである。手取金は7,500円平均、住込の場合は食費3,000円が引かれて4,500円。職場の不満については、男子31.91%、女子35.93%であって在学者の不満表示が、男16.25% 女16.00%に対して、遙かに上まわっている。しかし、大

企業に対する意見に対しては、男32.28%、女20.45%が答えているが、その意見を個別すると次表の如くなる。

意見の種類	男	女	計
大企業への羨望	10名	4名	14
大企業への否定或いは反感	4	3	7
大企業への無関心	4	—	4
中小零細業の肯定	10	5	15
あきらめ	3	3	6
計	31	15	46

32名
(中定
小シ
零テ
細イ
ニル
安数)

比較的小中零細業の中に安定している姿が見られる。

家庭については、在学生徒よりも、父子家庭、遺児家庭の率が高く、親との別居率も高い。家庭の生活の苦しさも遙かに高い。もっとも、定時制生徒の場合は最も高い。(男 51.06%、女 52.27%)(地域は男 38.63%、女 30.00%)

本人の自由になる小使賃は1,000円～2,000円程度で在学者と変らない。

生活欲求自体については第四表に上述した通りである。

自殺意図については、在学生徒の方が、地域青少年よりも高い。

	男	女	注 定時制
生徒	33.00%	39.66%	男 37.23% 女 56.82%
地域	24.55	34.50	

これは定時制の比率が影響している様に思われるが。

青少年指導者への接近は、男子37.91%、女子40.50%(在学者男32.67%、女46.06%)であり、その間に著るしい差は見られない。(X² 検定)その活動への具体的感想をのべている者は、男16.97%、女13.50%(在学者男11.93%、女8.93%)で、地域者の方に多少の関心がみられる。指導者活動を肯定(感謝)する者、批判(否定)する者、提案する者、大体三通りにわかれる。本調査によって、これらの指導者となりが出来たと喜ぶ者もあったし、この調査までは、その存在すら知らなかったと逆の考え方をする者もあった。

社会資源・文化資源の活用も不十分であり、それへの意欲も不活発なのは地域者・在学者ともにかわらない。

(活用: 地域者最高男子25.99%、女子19.53%、在学者最高男子26.40%、女子27.51%)(希望意見: 地域者男16.25%、女16.50%、在学者男15.18%、女9.81%)

余暇活動については、土曜日には、地域者、在学者共にスポーツ活動が減少し、日曜日には増大するのは、各種の行事予定をつくる時の参考となる。

全般的な問題として、週刊紙などを媒介とする、性の氾濫現象がみられる。これらは所謂、「性雑誌」の中に限定されているのではなく、各種各様の出版物の中に混在しているから、発禁とか、不売運動とか切り取りとかは、殆んど不可能な状態にあるのではないかと思う。道德教育の声は高いが、本質的には性の倫理の確立にあるのではないかと考える。性の生理や性の技術についての良心的な出版物は多少存在しているが、性の倫理として、性の人間関係及び、道德的危険を指摘するものは殆んど存在しない。身体的危険である交通禍については、多くの注目がなされているが、道德的危険から青少年を守る安全地帯の標示はない。青少年の成人社会への接近度については上述したが、民主化のすすむにつれて、例えば、米国の高校生徒の喫煙が日常的である一例の如く、生活欲求について、青少年と成人とを、同一快楽から区別する事は困難となってくる。私は、生理欲求の面から論じるのではなく、性の人間関係から論じなくては、性の倫理の確立はあり得ないと思っている。こうした見地から、刺戟文化財の存在については、所謂文化人の「のんきな

自由放任論」には賛成しがたい。このような自由論は自由主義社会においても極めて危険である事を本調査から感ずる。

VII 提起される問題（ケースワーク用具作製の準備）

本調査によって、提起される問題は、将来の研究に待たねばならぬ所であるが、

- 1) 青少年（の社会的規範よりの）逸脱指標の試み（第五表）
- 2) 欲求障害（frustration）解消方法異常性指標の試み（第六表）
- 3) 余暇の建設的創造的活用と社会的プログラム、社会資源の不足、及び表出されない青少年の社会的欲求との関係の研究（未完成）
- 4) 生活基盤悪条件の者、或いは家族関係悪条件の者のパーソナリティと社会悪刺激との接衝の相関関係の研究。（未完成）
- 5) 十四才該当（義務教育段階）少年の調査（将来）
- 6) 定時制生徒の調査（将来）
- 7) 女子青年の欲求調査（将来）

これらが完成されるならば青少年ケースワークの用具とすることが出来よう。

1) 青少年（の社会的規範よりの）逸脱指標

第五表

青少年（の社会的規範よりの）逸脱指標
（上欄ハ在学者、下欄ハ地域者）

逸脱指標	男	%	女	%
5 小使銭	在学162名	26.73	76名	16.20
B 2				
もっとほしい	地域 53	19.13	40	20.00
5 C 小使銭使途内容				
(7) 喫煙代	28	4.62	5	1.07
	23	8.39	4	2.00
(8) マージャン・カ ケゴト代	8	1.32	2	0.43
	7	2.52	0	—
(9) 酒ビール代	12	1.94	1	0.21
	14	5.05	0	—
(10) パチンコ代	41	6.77	2	0.43
	43	15.52	1	0.50

(11) 化粧品代	26	4.29	40	8.52
	73	26.35	83	41.50
(12) 装飾品代	10	1.70	39	8.73
	7	2.52	32	16.00

6. 小使のたりぬときの工面

(3) 友人に借りる	25	4.13	3	0.64
	28	10.11	10	5.00
(4) 質屋で金をつくる	1	0.15	0	—
	3	1.08	0	—
(5) 物を売る	3	0.50	0	—
	1	0.36	0	—

成人向映画 ※印ハ（日本映画）

7. 成人向映画観覧	男	女	計 (名)
(3) 狂った本能	105	21	126
	35	10	45

(14) 殺られる	90	14.85	11	2.35	101
	51	18.41	12	6.00	63
※35 男性飼育法	93	15.35	15	3.20	108
	49	17.69	18	9.00	67
(6) 危険な曲り角	93	15.35	61	13.01	154
	34	12.28	25	12.50	59
※30 貸間あり	74	12.61	13	2.77	87
	45	16.25	16	8.00	61
※30 鍵	88	14.52	18	3.84	106
	35	12.64	9	4.50	44
※29 赤いパンツ	66	10.89	11	2.35	77
	34	12.28	23	11.50	57
※36 私は勝負する	78	12.78	8	1.71	85
	31	11.19	8	4.00	39
(17) 月夜の出来事	82	13.53	29	6.18	111
	18	6.50	10	5.00	28
(7) 恋人たち	66	10.89	15	3.20	81
	28	10.10	18	9.00	46
7. 映画観覧					
A 回数					
月6回以上観覧	18	2.97	0	—	
	13	4.70	2	1.00	
B 同伴者が異性					
	15	2.48	3	0.64	
	13	4.69	7	3.50	
8. Strip (Nude)					
	男	%	女	%	
B 1 もっとみたい	60	23.81	8	11.59	
	15	14.57	1	3.44	
D 2 いけないとは思わない					
	133	21.94	29	6.18	
	51	18.41	11	5.50	
6. 煙 草					
A 2 すいたいと思う					
	19	3.14	3	0.64	
	9	3.25	1	0.50	
3 a すったことがある					
	161	26.57	17	3.62	
	76	27.43	9	4.50	

3 b すっている		23	3.79	0	—
		28	10.11	1	0.50
10 アルコール飲料					
A 2 のみたいと思う		男		女	
		4	0.66	1	0.21
		4	1.44	1	0.50
A 3 b のんでいる					
		31	5.12	6	1.29
		16	5.78	3	1.50
C 1 腹のたつときに					
のむ		13	18.57	1	4.35
		1	2.94	0	—
4 気持ちが沈んだと					
きのむ		6	8.57	0	—
		3	8.82	0	—
D 飲む場所					
5. Barアルサロ		11	2.28	0	—
居酒屋		10	4.52	2	1.65
6. 洋酒喫茶					
		16	3.31	3	1.06
		28	12.67	12	9.92
11 薬 品					
A 1 プロバリン		29	34.12	12	32.00
		3	15.00	6	27.27
5. トランキライザー					
		4	4.71	1	2.00
		2	10.00	1	4.55
9. アトラキシン					
		25	29.41	25	50.00
		9	45.00	5	22.72
12 パチンコ					
2 やってみたい		21	3.46	14	2.99
		5	1.81	7	3.50
3 b やっている					
		29	4.79	1	0.21
		21	7.58	1	0.50
3 a やったことがある					
		277	45.71	93	19.83
		131	47.29	40	20.00
12B パチンコ回数					
月15回以上		7	2.29	0	—
		4	2.63	0	—
C 1 パチンコを腹が					
たったときする		8	2.61	0	—
		3	1.97	0	—

13	かけごとに金をかけた	151 57	24.92 20.58	29 10	6.18 5.00
14	性雑誌閲覧経験	296 154	48.84 55.60	155 92	33.05 46.00
15	Date				
A 1	ある	83 55	13.70 19.85	38 30	8.10 15.00
B 1	ほしい	199 70	38.79 35.35	72 57	17.28 33.93
15	結婚前性経験についての意見				
H	性交についての意見				
	(恋人)	59 15	9.74 5.42	16 5	3.41 2.50
	無記入	129 106	21.29 38.26	145 42	30.92 21.00
	(婚約者)	125 37	20.63 13.36	17 11	3.62 5.50
	無記入	130 105	21.45 37.90	150 49	31.99 24.50
	(商売人)	53 12	8.74 4.33	9 7	1.92 3.50
	無記入	149 111	24.59 40.07	157 49	33.48 24.50
注 無記入は {地域男子ニ多ク・在学女子ニ多イ}					
19	ぶらぶら歩き 〔9.bar〕	5 7	0.83 2.52	0 1	— 0.50

2) 欲求障害解消の為の異常性指標

第 六 表

上欄 (在学者) 下欄 (地域者)

16C	スリルを好む	男 348名 161	% 57.43 58.12	女 188名 76	% 40.09 38.00
反社会的行動にスリルを感じる					
7	電車ただのり	41 5	6.77 1.81	18 4	3.82 2.00
8	ジャックナイフ	15 3	2.48 1.08	8 2	1.70 1.00
9	映画のただみ	12 1	1.93 0.36	6 4	1.28 2.00
10	怠学 (サボル)	29 3	4.79 1.08	18 6	3.82 3.00
11	ケンカ (メンキリ)	34 9	5.61 3.25	5 10	1.07 5.00
12	異性尾行 (アトツケ)	17 3	2.81 1.08	9 2	1.92 1.00
13	冷カシ	27 2	4.46 0.72	4 3	0.85 1.50
14	物品持帰 (灰皿・茶わん)	28 5	4.62 1.81	10 1	2.13 0.50
25	不満の表現	73 45	12.04 16.25	67 32	14.29 16.00
27	自殺企図	200 68	33.00 24.55	186 69	39.65 34.50

(後記) 本研究は京都市青少年問題協議会の援助によってなすことが出来た。ここに謝意を表する。

(1930年7月20日受理)